

# 攻撃とミサイル防衛の最前線 三沢基地

青森県三沢基地は、米空軍と航空自衛隊が共同使用をする基地です。米空軍には、1980年代から核爆弾を搭載可能なF16戦闘機の配備をはじめ現在40機が配備され、敵防空網制圧（SEAD）を主任務としています。更に航空自衛隊には、F2戦闘機40機が配備されており、日米合わせて80機の対地攻撃戦闘機が集中配備されています。加えて、最新鋭のステルス戦闘機F35Aが42機、大型無人偵察機グローバルホークの配備と、日米共同の攻撃基地としての機能の強化が進んでいます。また、ミサイル防衛のためのXバンドレーダーがつがる市の空自車力分屯基地に配備されるなど、「北の要塞」と化しています。日頃あまり知ることのない青森・三沢の実態を、齋藤光政さんに聞きます。ぜひ、多くの方の参加を呼びかけます。



## お話：齋藤光政さん

### 日時：7月28日（土）

午後1時開場 1時半開始

### 場所：東別院会館 蓮の間

（地下鉄名城線「東別院」下車 4番出口西に徒歩3分）

参加費：800円

【経歴】1959年生まれ。青森県出身。現在、東奥日報編集局次長。青森県三沢基地の核や在日米軍の現状と問題を鋭く世間に提起してきたことで、「第6回平和・共同ジャーナリスト基金賞」（2000年）、「第11回新聞労連ジャーナリスト大賞」（2007年）、「第9回石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」などを受賞。2004年には米國務省のインターナショナル・ビジター・プログラム（安全保障部門）で米国での研修と取材。著書等に『米軍「秘密」基地ミサワ』（同時代社、2002年）、『在日米軍最前線』（新人物往来社、2008年）、『下北核半島』（岩波書店、2011年）。共著に前田哲男・飯島滋明編『Q&Aで読む 日本軍事入門』（吉川弘文館、2014年）など。

第4回 横須賀・横田基地 は今  
日程・場所未定 講師交渉中  
（すべての基地にNOを！ファイト神奈川  
／予定）



呼びかけ：不戦へのネットワーク

連絡先：名古屋市中村区那古野1の44の17 嶋田ビル2F

電話：050-3593-5130

Eメール：[husen@jca.apc.org](mailto:husen@jca.apc.org)

<http://www.jca.apc.org/~husen/>

[www.facebook.com/antiwarnetwork](http://www.facebook.com/antiwarnetwork)